

# 岩手県感染症月報

平成29年5月

岩手県感染症情報センター

## 平成29年5月の概要

### ○性感染症

- ・男性の淋菌感染症が増加しました。
- ・女性の性器クラミジア感染症が増加しました。
- ・県内の各保健所において、性器クラミジア病原体検査を無料で実施しています。希望される方は保健所にお問い合わせください。

### ○薬剤耐性菌感染症

- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が増加しました。

## 性感染症・薬剤耐性菌感染症（過去5ヶ月間の動き）

※薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から5類感染症の全数報告となりました。

（定点当たり患者数）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	1.27	1.53	1.73	1.33	2.13	↗
		全国	1.88	1.89	1.97	1.9	2.22	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.2	0	0.2	0.13	0.2	→
		全国	0.78	0.74	0.8	0.75	0.86	
尖圭コンジローマ	岩手県	0.47	0.33	0.47	0.27	0.47	→	
	全国	0.44	0.39	0.48	0.43	0.5		
淋菌感染症	岩手県	0.6	0.87	0.27	0.07	0.47	↗	
	全国	0.68	0.64	0.64	0.6	0.64		
薬剤耐性菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	2.42	1.58	2.05	1.95	2.37	↗
		全国	2.91	2.68	2.76	2.72	2.86	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0.37	0.42	0.32	0.53	0.37	→
		全国	0.34	0.34	0.32	0.36	0.41	
薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0.11	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0.01	0.01		

### （男性）

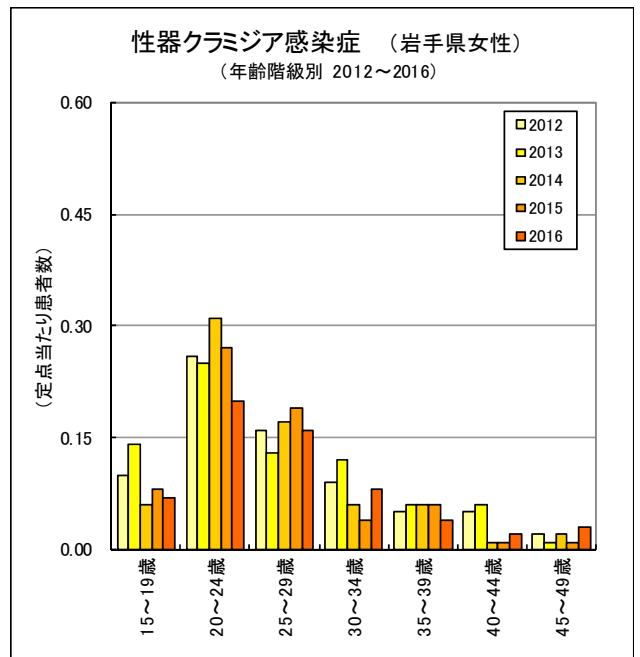
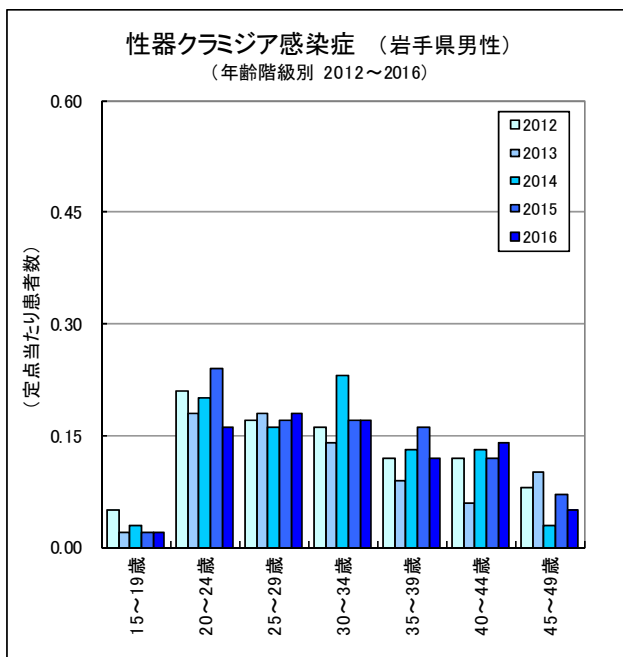
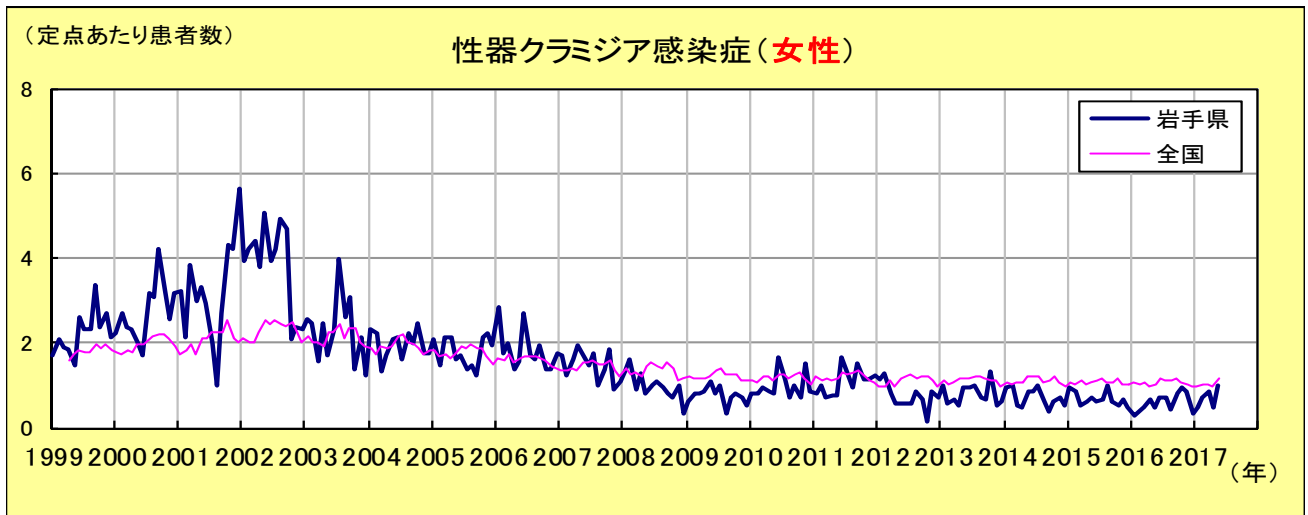
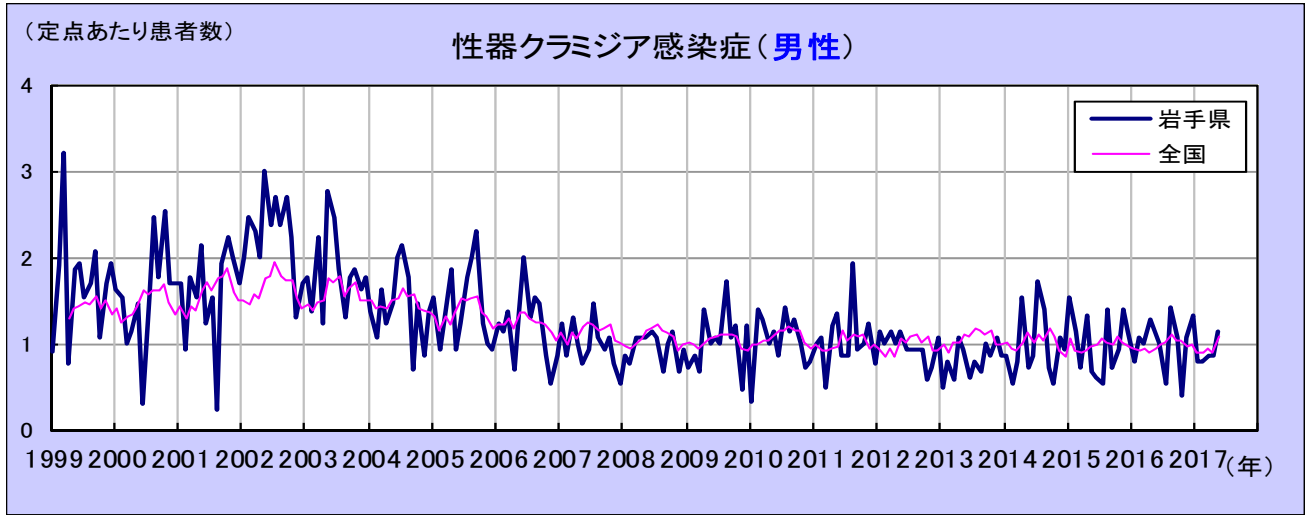
疾病名	地域	月					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.8	0.8	0.87	0.87	1.13	→
		全国	0.9	0.89	0.94	0.9	1.07	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.2	0	0.07	0	0	→
		全国	0.32	0.3	0.34	0.31	0.36	
尖圭コンジローマ	岩手県	0.33	0.2	0.33	0.2	0.27	→	
	全国	0.28	0.22	0.31	0.28	0.31		
淋菌感染症	岩手県	0.47	0.67	0.13	0.07	0.47	↗	
	全国	0.55	0.51	0.51	0.48	0.49		

### （女性）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	0.47	0.73	0.87	0.47	1	↗
		全国	0.97	1	1.03	0.99	1.15	
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0	0	0.13	0.13	0.2	→
		全国	0.46	0.44	0.46	0.44	0.5	
尖圭コンジローマ	岩手県	0.13	0.13	0.13	0.07	0.2	→	
	全国	0.16	0.17	0.17	0.16	0.19		
淋菌感染症	岩手県	0.13	0.2	0.13	0	0	→	
	全国	0.13	0.13	0.13	0.12	0.15		

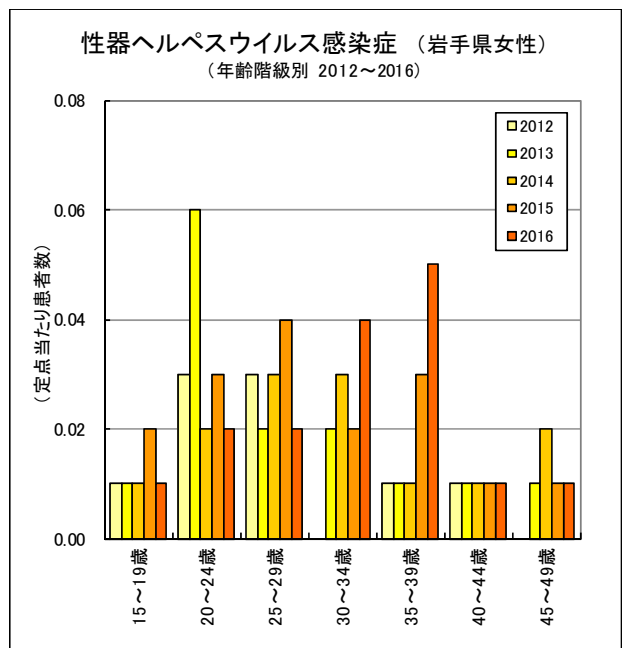
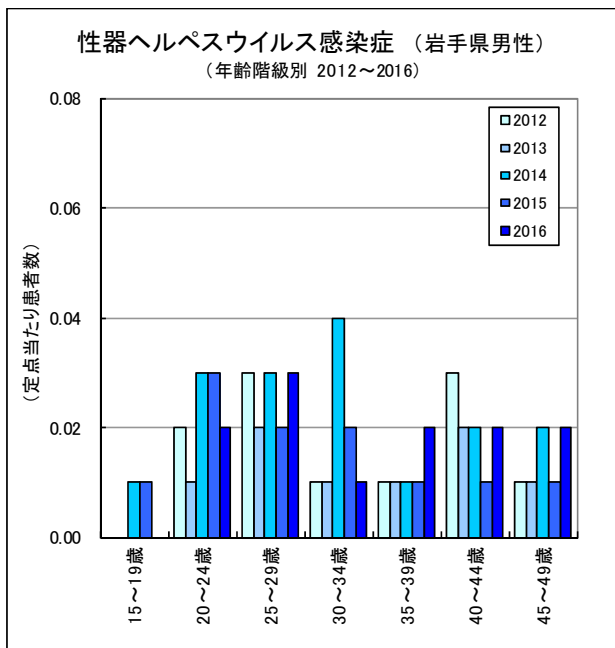
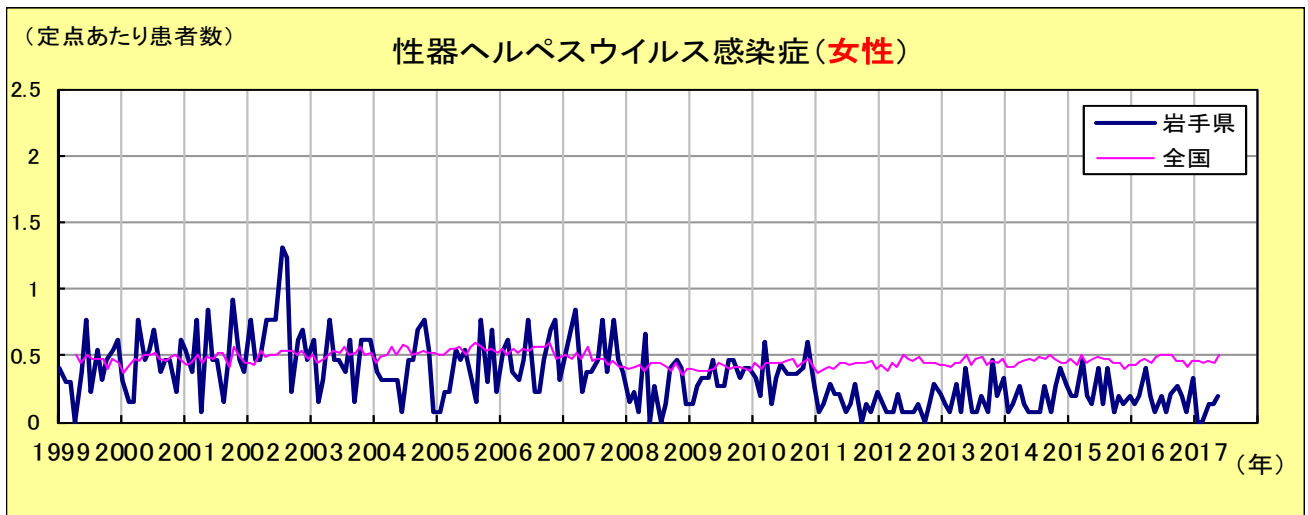
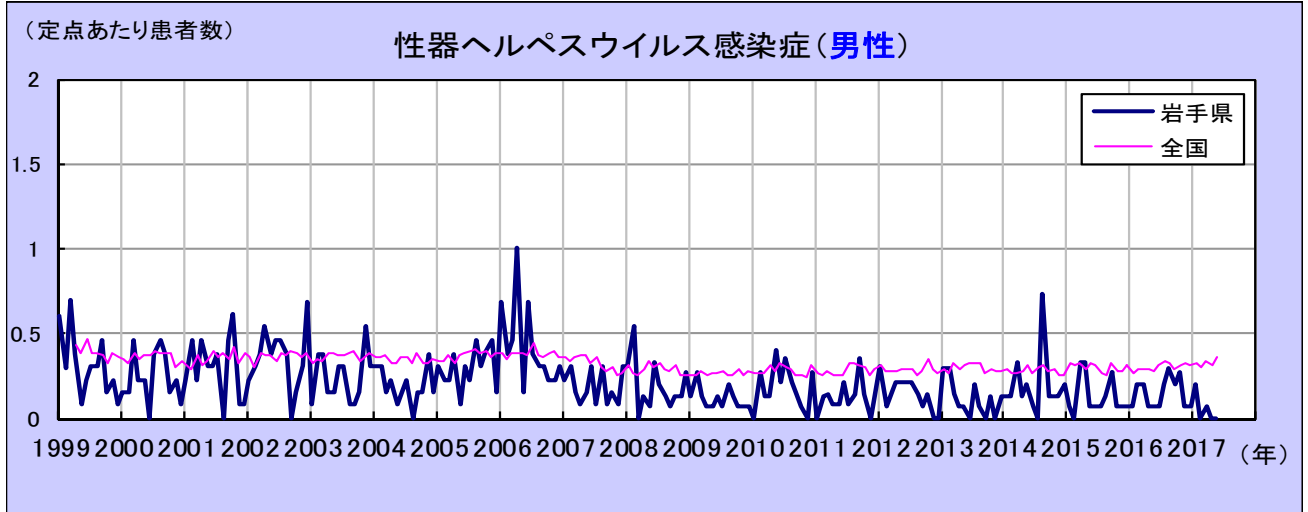
性器クラミジア感染症

男性では20～39歳で、女性では20～29歳で多く報告されています。男性は横ばいの状況が続いています。女性は全体的に減少傾向にあります。2016年は、30～34歳の報告数が増加しています。



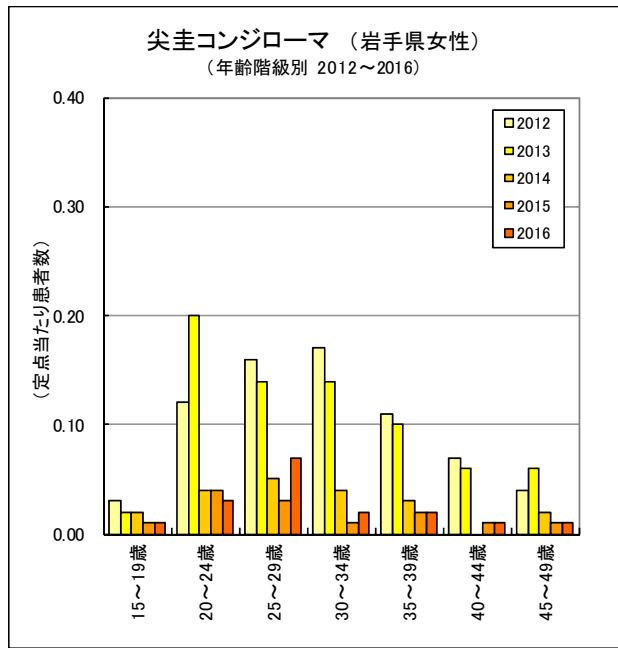
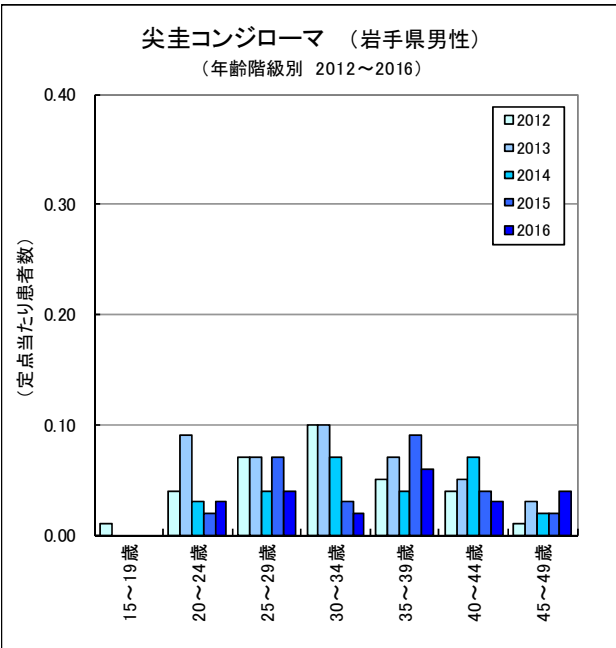
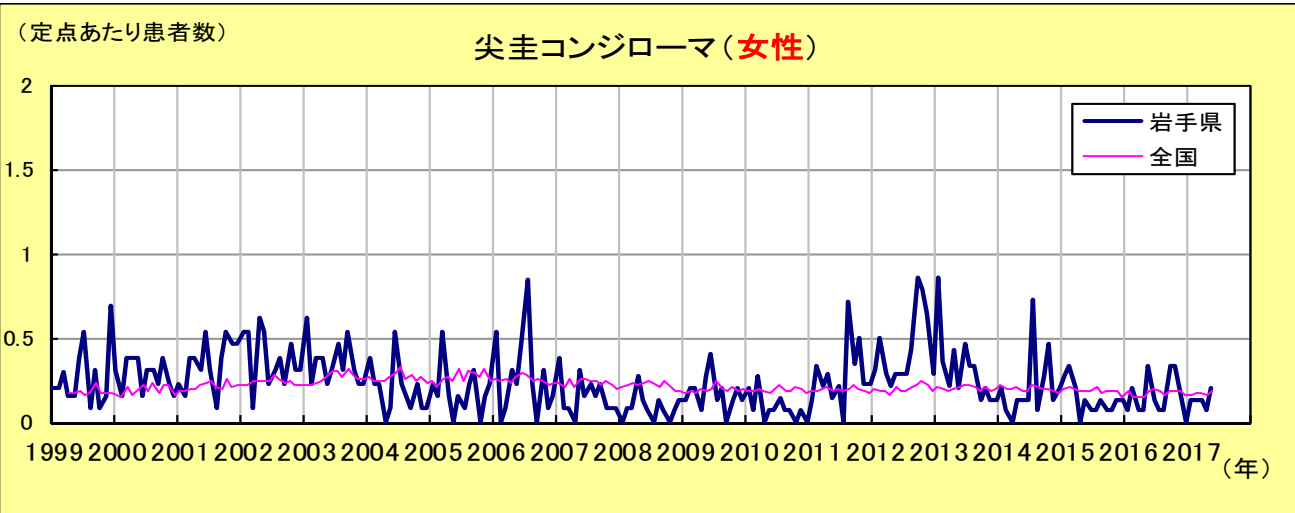
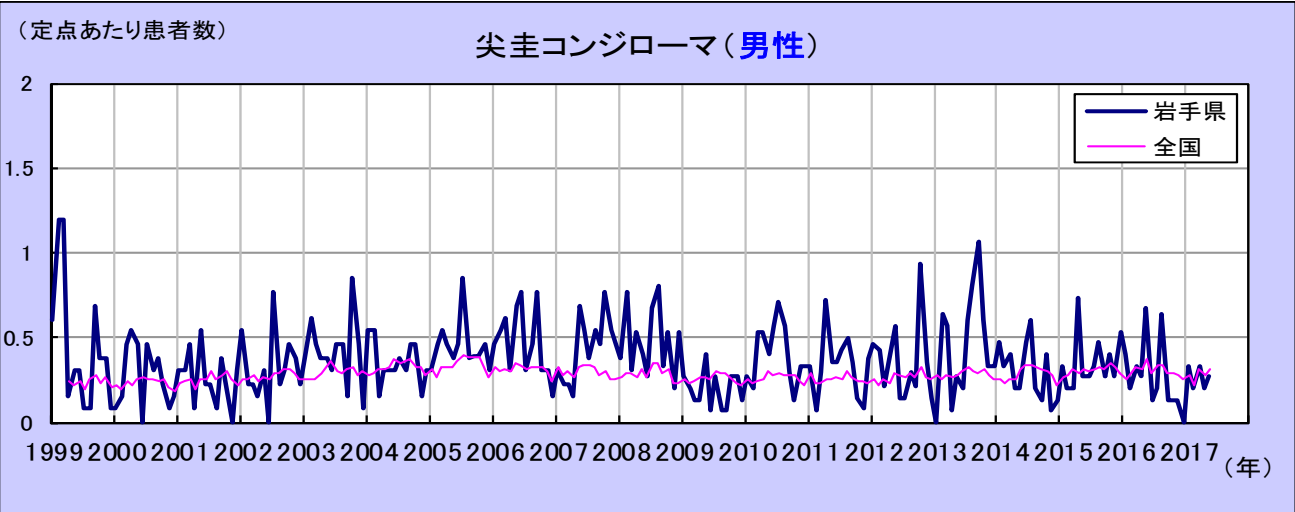
性器ヘルペスウイルス感染症

男性では20～29歳で、女性では20～39歳で多く報告されています。男性は、横ばいの状況が続いており、女性は、2013年に20～24歳の報告数が多くなりましたが、2014年以降横ばいとなっております。女性の30～39歳は、報告数は増加傾向にあり、2016年も増加しました。



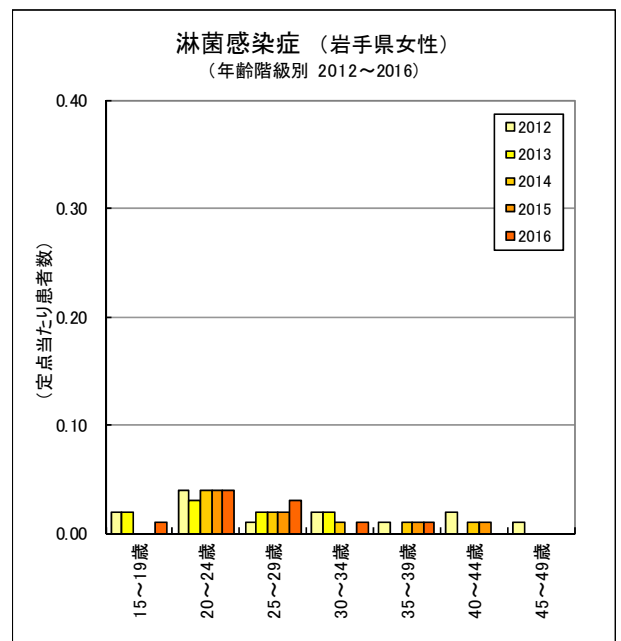
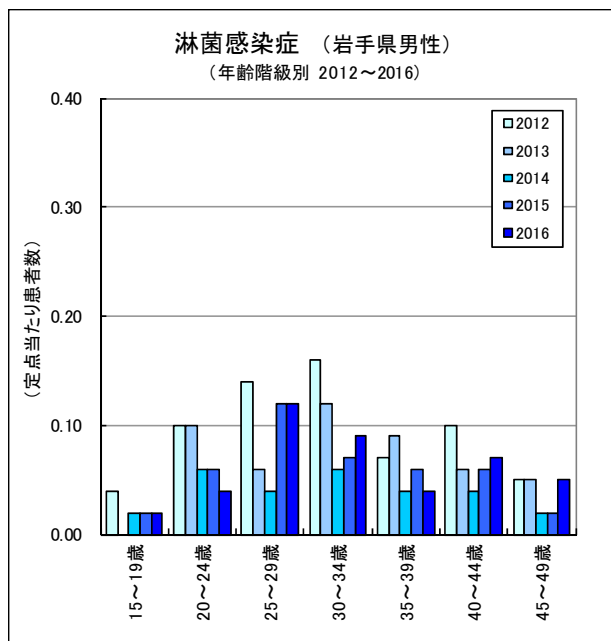
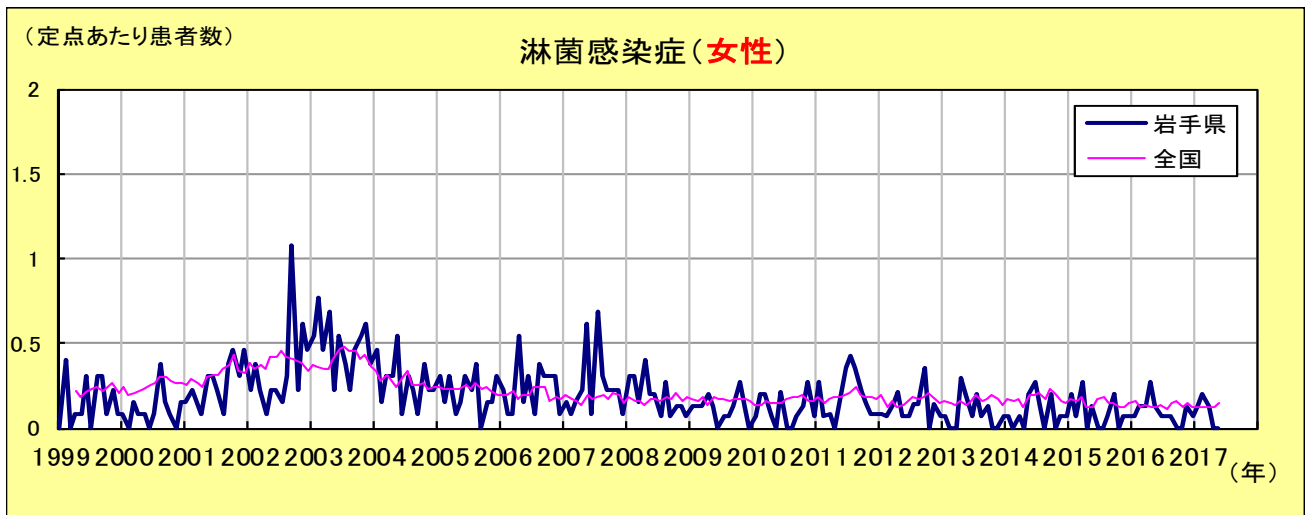
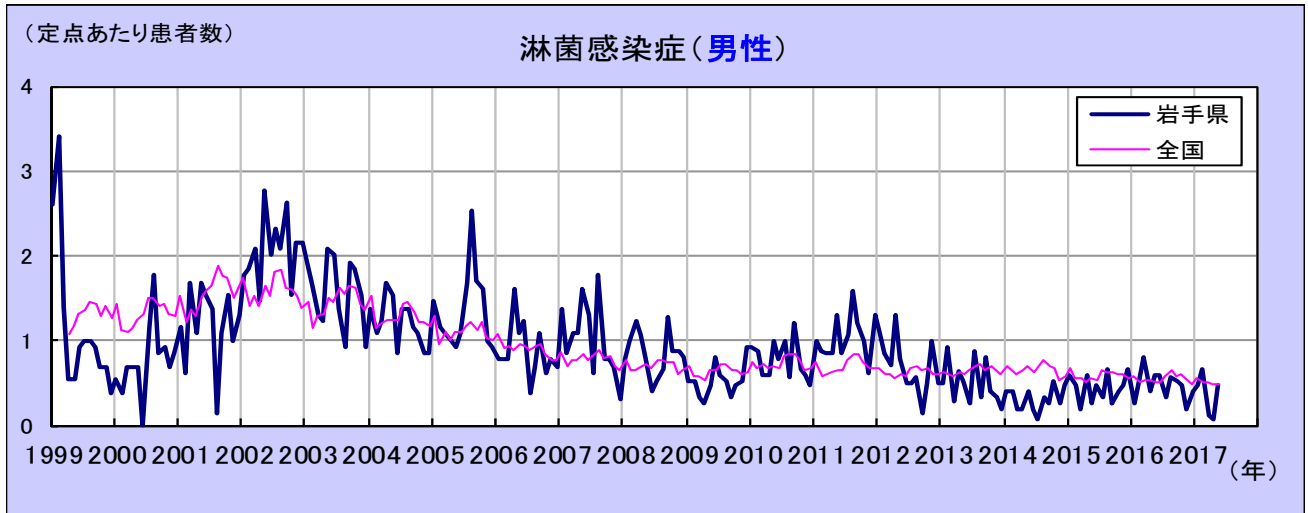
尖圭コンジローマ

2012～2013年は、女性が男性より多く報告されておりましたが、2014年にはすべての年齢層で女性の報告数が減少し、男性より少なくなりました。2014年以降、男女とも減少傾向にあります。2016年は、25～29歳女性、20～24歳男性および45～49歳男性が増加しました。

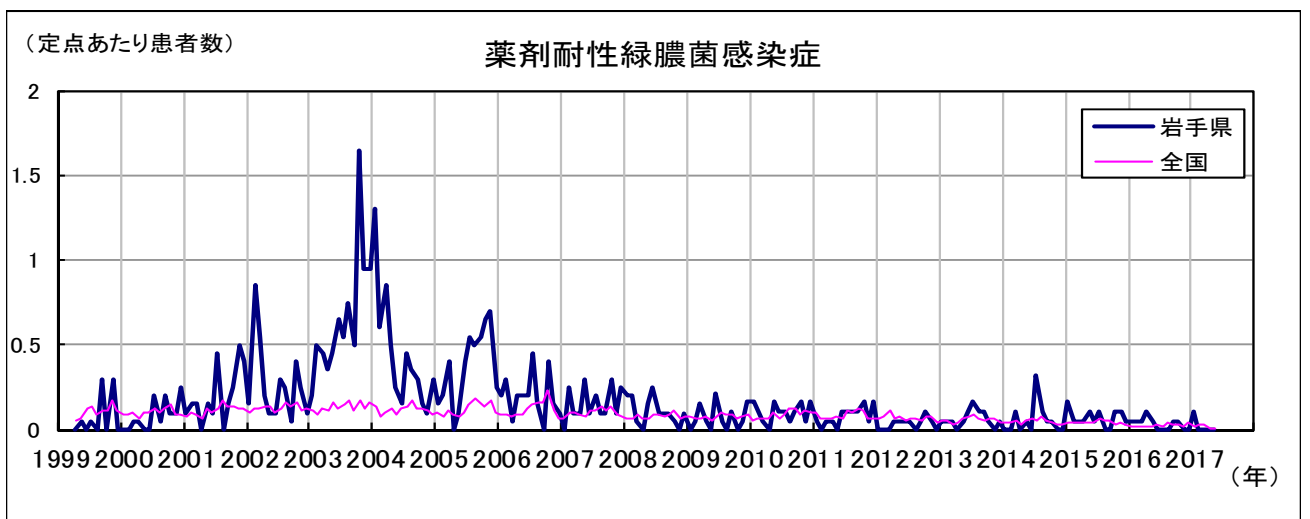
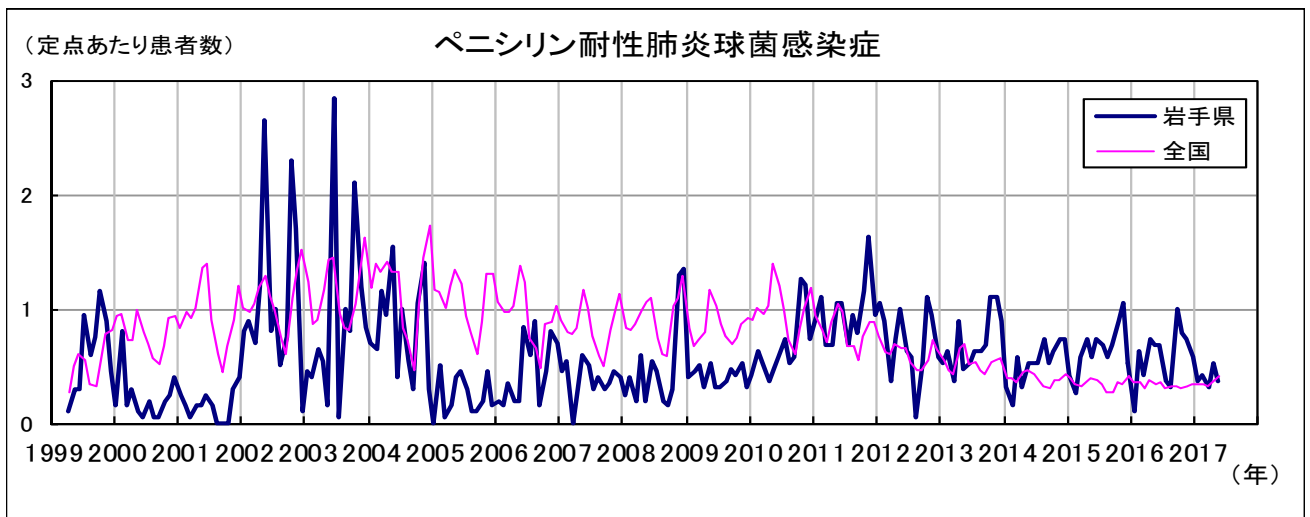
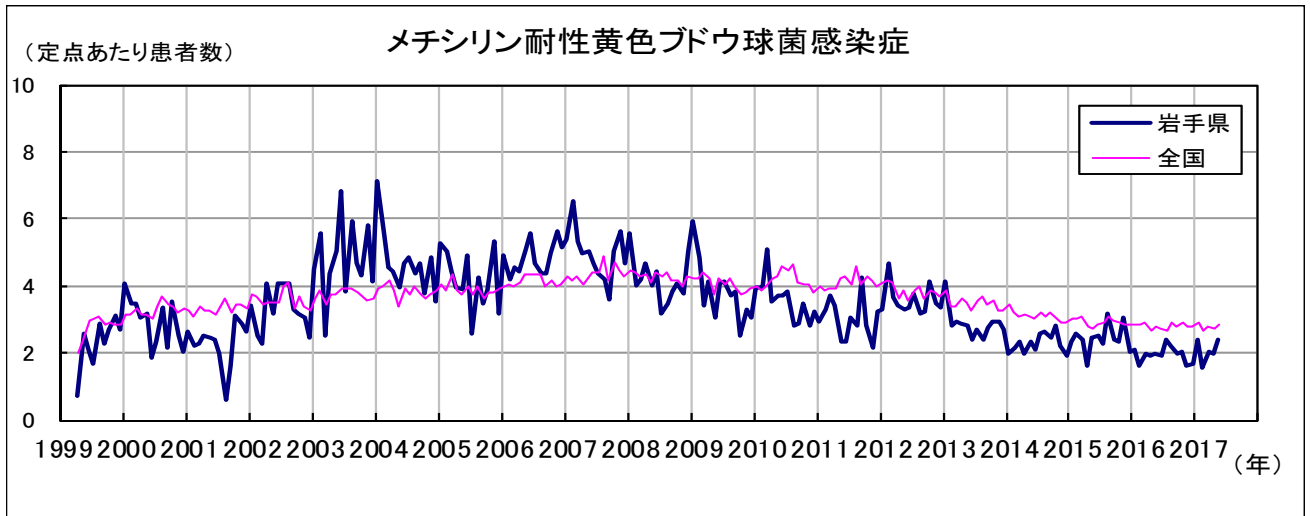


淋菌感染症

男性の報告数は全体的に女性より多く、特に25～34歳で多く報告されています。すべての年齢層で2014まで減少傾向にありましたが、2015年は増加もしくは横ばいに転じ、さらに2016年は、30～34歳、40～49歳の報告数が増加しました。女性は20～29歳で報告数が多くなっています。



薬剤耐性菌感染症



病原体検出情報

平成29年1月から平成29年6月まで、県内の病原体定点医療機関等で採取した検体から岩手県環境保健研究センターで分離検出した病原体は下表のとおりです。

月別病原体検出状況

検査結果	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
ライノウイルス	1	3	1	6	1	-	12
インフルエンザAウイルス(H3N2亜型)	27	26	19	13	3	-	88
インフルエンザBウイルス(ビクトリア系統)	1	1	4	4	4	-	14
インフルエンザBウイルス(山形系統)	-	-	1	6	9	-	16
RSウイルス	-	-	-	-	1	-	1
ヒトメタニューモウイルス	-	1	-	2	-	-	3
コロナウイルス	-	-	-	1	-	-	1
ムンプスウイルス	3	3	5	3	-	-	14
A群ロタウイルス	-	1	-	1	4	-	6
ノロウイルス遺伝子群II	4	1	4	2	-	-	11
アデノウイルス2型	1	1	-	-	-	-	2
アデノウイルス3型	1	1	-	-	-	-	2
アデノウイルス5型	-	-	-	1	-	-	1
単純ヘルペスウイルス	2	1	-	1	-	-	4
ヒトヘルペスウイルス6型	1	2	1	1	-	-	5
ヒトヘルペスウイルス7型	1	3	-	-	-	-	4
パルボウイルスB19	-	1	-	-	-	-	1
溶血性レンサ球菌	-	5	1	8	3	0	17
	42	50	36	49	25	0	202

病原体検出情報 つづき

疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数
インフルエンザ	インフルエンザAウイルス(H3N2亜型)	87
	インフルエンザBウイルス(ビクトリア系統)	13
	インフルエンザBウイルス(山形系統)	16
RSウイルス感染症	RSウイルス	1
	ライノウイルス	1
咽頭結膜熱	アデノウイルス5型	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	17
感染性胃腸炎	アデノウイルス2型	1
	A群ロタウイルス	6
	ノロウイルス遺伝子群II	11
伝染性紅斑	ヒトヘルペスウイルス7型	1
	パルボウイルスB19	1
突発性発疹	ヒトヘルペスウイルス7型	1
	ライノウイルス	1
流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス	13
急性脳炎	ヒトヘルペスウイルス6型	1
その他	ライノウイルス	10
	インフルエンザAウイルス(H3N2亜型)	1
	インフルエンザBウイルス(ビクトリア系統)	1
	ヒトメタニューモウイルス	3
	コロナウイルス	1
	ムンプスウイルス	1
	アデノウイルス2型	1
	アデノウイルス3型	2
	単純ヘルペスウイルス	4
	ヒトヘルペスウイルス6型	4
	ヒトヘルペスウイルス7型	2



結核発生動向

結核の発生動向の詳細は、岩手県感染症情報センターのホームページをご覧ください。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/index.html>

無料です!!

岩手の感染症情報をメールで毎週お届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」

を配信しています

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症月報 平成29年5月

平成29年7月7日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/